イ　470MHzを超え710MHz以下の帯域

別図第四号の八の十八に規定する値を準用する。

ただし、fc＋15MHzを超える周波数又はfc―15MHz以下の周波数のスプリアス領域における不要発射の強度の許容値は、次のとおりとする。

㈠　占有周波数帯幅が5.7MHzのもの

0.01nW以下

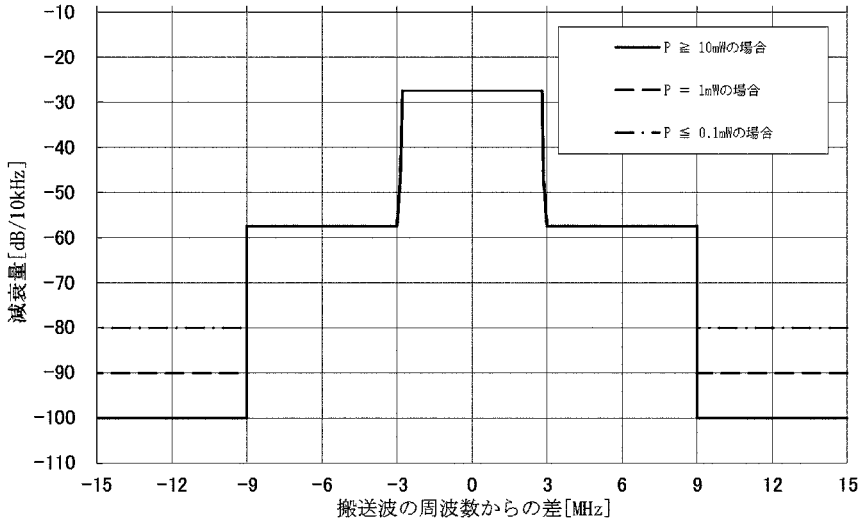
㈡　占有周波数帯幅が468kHzのもの

（0.01／13）nW以下

別図第四号の八の十七の次に次の１図を加える。

別図第四号の八の十八　搬送波の変調波スペクトル（第37条の27の25第３項関係）

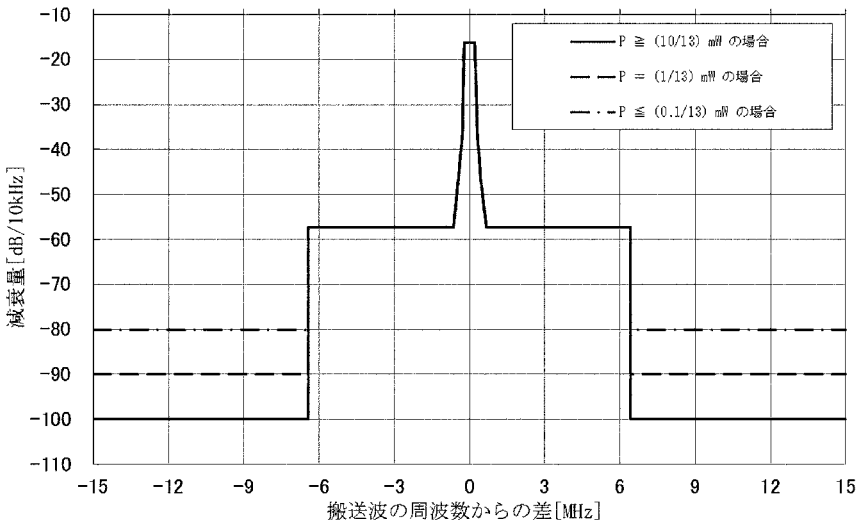
1　占有周波数帯幅が5.7MHzのもの



搬送波の周波数からの差	平均電力Pからの減衰量			規定の種類
	P≧10mWの場合	P＝１mWの場合	P≦0.1mWの場合	
±2.79MHz	−27.4dB／10kHz	−27.4dB／10kHz	−27.4dB／10kHz	上限
±2.86MHz	−47.4dB／10kHz	−47.4dB／10kHz	−47.4dB／10kHz	上限
±3.00MHz	−57.4dB／10kHz	−57.4dB／10kHz	−57.4dB／10kHz	上限
±9.00MHz	−57.4dB／10kHz	−57.4dB／10kHz	−57.4dB／10kHz	上限
±9.00MHz	−100.0dB／10kHz	−90.0dB／10kHz*1	−80.0dB／10kHz	上限

＊１　平均電力Pが0.1mWを超え10mW未満の無線設備にあつては、−(90＋10logP)dB／10kHzとする。

2　占有周波数帯幅が468kHzのもの



搬送波の周波数からの差	平均電力Pからの減衰量			規定の種類
	P≧(10／13)mWの場合	P＝(１／13)mWの場合	P≦(0.1／13)mWの場合	
±0.22MHz	−16.3dB／10kHz	−16.3dB／10kHz	−16.3dB／10kHz	上限
±0.29MHz	−36.3dB／10kHz	−36.3dB／10kHz	−36.3dB／10kHz	上限
±0.43MHz	−46.3dB／10kHz	−46.3dB／10kHz	−46.3dB／10kHz	上限
±0.65MHz	−57.3dB／10kHz	−57.3dB／10kHz	−57.3dB／10kHz	上限
±6.43MHz	−57.3dB／10kHz	−57.3dB／10kHz	−57.3dB／10kHz	上限
±6.43MHz	−100.0dB／10kHz	−90.0dB／10kHz*2	−80.0dB／10kHz	上限

＊２　平均電力Pが(0.1／13)mWを超え(10／13)mW未満の無線設備にあつては、−(90＋10log（13P))dB／10kHzとする。

（特定無線設備の技術基準適合証明等に関する規則の一部改正）

第七条　特定無線設備の技術基準適合証明等に関する規則（昭和五十六年郵政省令第三十七号）の一部を次のように改正する。

第二条第一項第五十七号の二の次に次の一号を加える。

五十七の三　設備規則第三十七条の二十七の二十四及び第三十七条の二十七の二十五においてその無線設備の条件が定められているエリア放送を行う地上一般放送局に使用するための無線設備